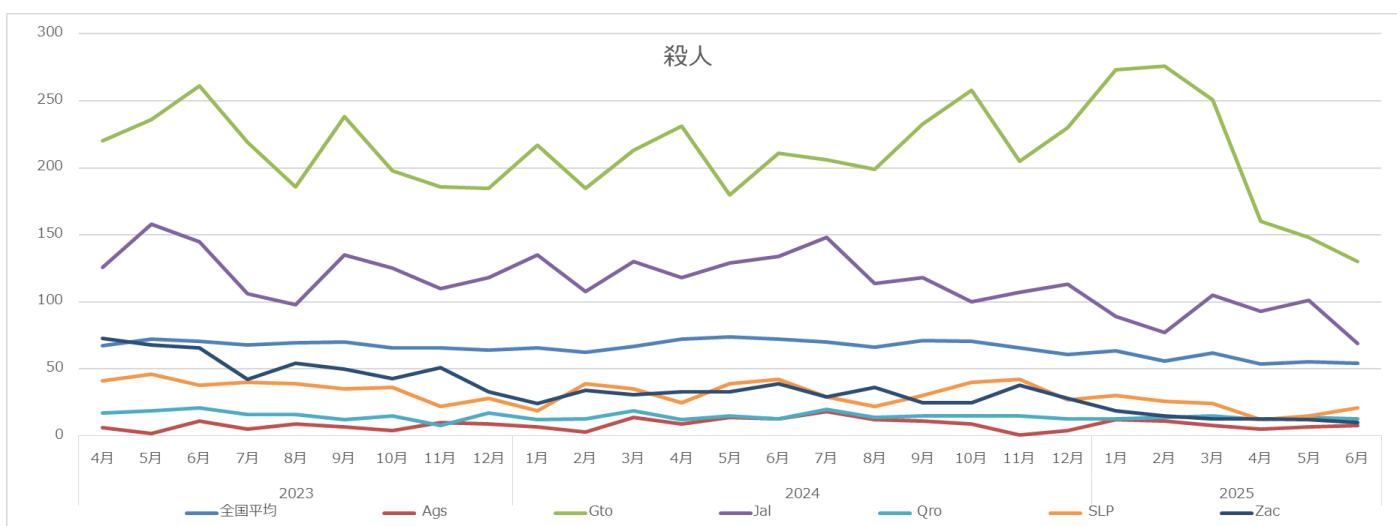
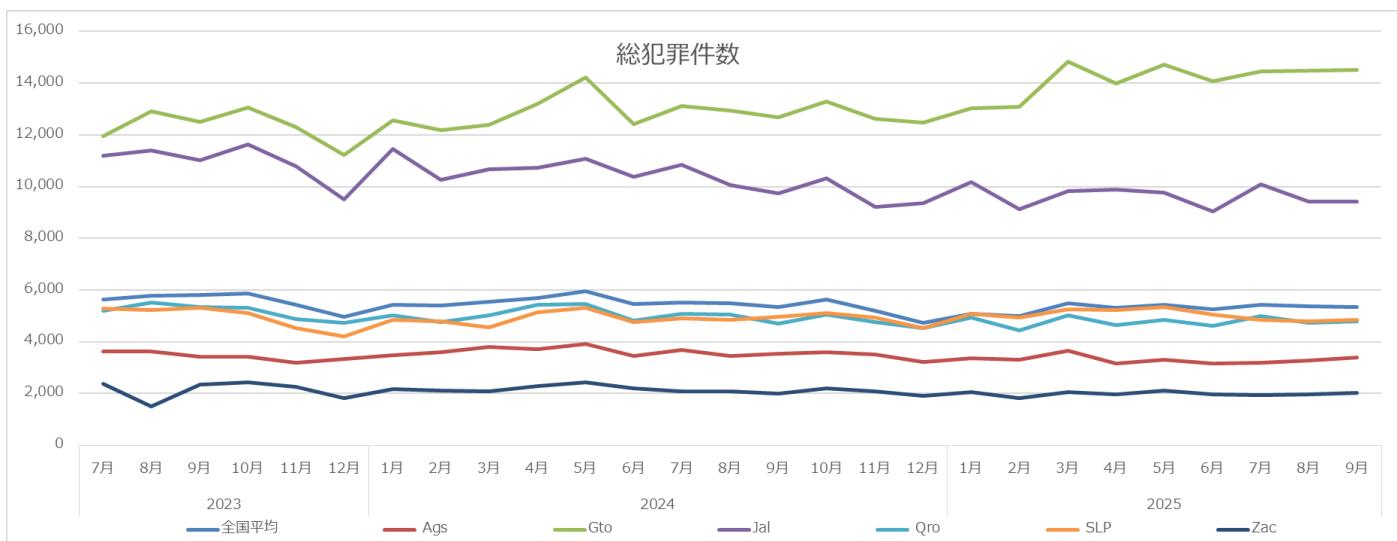


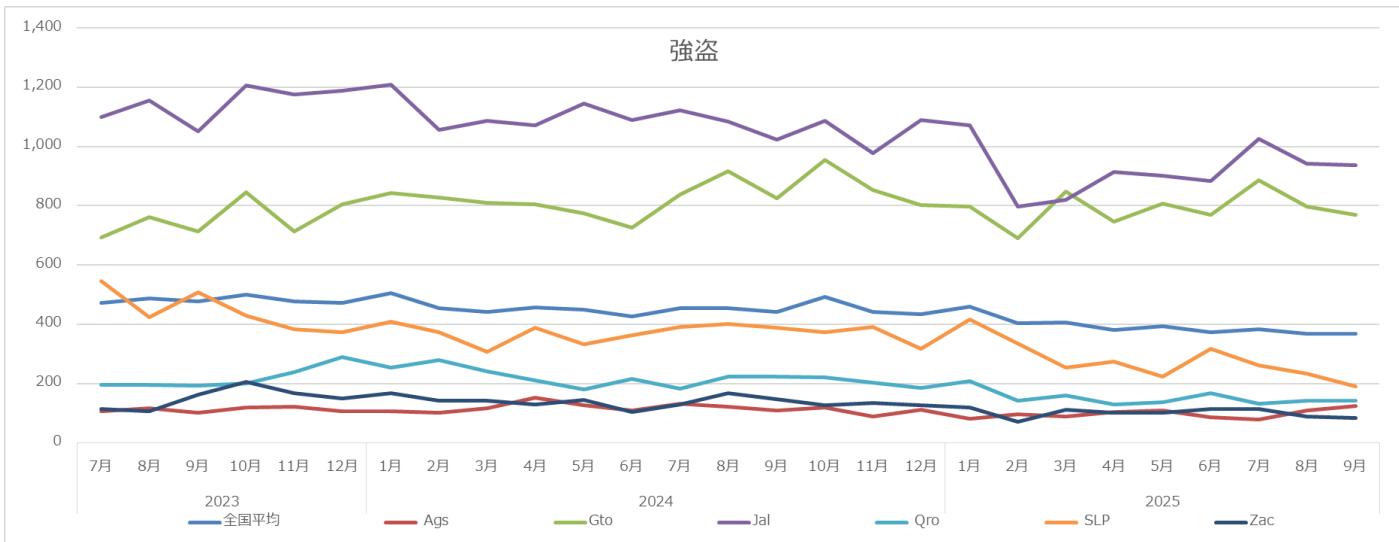
1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数の麻薬カルテルが存在しており、殺人の多くは麻薬カルテルによる抗争が大きく関係していると言われています。特にグアナファト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル (CSRL) とハリスコ新世代カルテル (CJNG) との抗争が数年間続いている影響もあり、殺人が最も多く発生している州であり、2024年は2,568件で全国1位でした。近年ではCSRLは弱体化していると言われておりますが、CJNGがCSRLの支配地を奪おうとして抗争が活発化している地区もあり、抗争はしばらく続くと考えられます。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者や治安当局関係者と言われていますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれる可能性があるほか、誤認により殺害されるケースも見られるため十分注意が必要です。

グアナファト州では特にセラヤ市からアパセオ・エル・グランデ市周辺の連邦高速道路45D号線で、邦人が乗車する車両への銃撃事件や、イラプアト市など邦人が多く在住する都市において殺人が急増しているとの報道もあります。

メキシコではいずれの州においてもカルテルが活動しており、複数のカルテルが1つの州内で活動しているのがほとんどで、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は殺人が少ない傾向にあります。グアナファト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まり、治安が急激に悪化した州もあります。また、一般的に治安が安定していると言われる州においても、カルテルの犯行と思われる犯罪や誘拐事件などが発生しておりますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けてください。





2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州

・人口約616万人 犯罪認知総数（7月～9月）40,979件

殺人の件数はここ数年増加傾向にあり、引き続きカルテルによる事件は継続すると考えられます。当地報道によると、6月にイラプアト市内では一度に12人が殺害される事件が発生しております。また、強盗被害も依然として多く発生しており、都市間の移動は時間帯など考慮して運行計画を立てる事も重要ですが、通勤時間帯に車両強盗被害に遭う事件も継続して発生しており、一般的な対策だけでは防ぐことができません。更に、同地域では幹線及び高速道路上（特に幹線道路45号及び高速道路45D号線）で強盗被害が発生しており、本年6月までに発生した邦人被害は2件（当館へ報告いただいた被害のみ）。被害者の国籍に関係無く、SUVタイプ、ピックアップタイプの車両が狙われやすい傾向にあります。

走行中の車両に犯人車両が並走し銃器で脅して車両を強奪する事件や、被害者が一時的に犯人車両に監禁される事件、さらには強盗目的で歩道橋から投石し、車両を強制的に停車させるような手口による事件が日中・夜間関係無く発生しています。万が一同被害に遭ってしまった場合は、相手を刺激せず命を守るような行動をとってください。

・邦人被害（7月～9月）6件（車上ねらい被害2件、強盗及び窃盗被害3件、銃撃被害1件）

●車上ねらい被害

7月25日18時頃、邦人男性がシラオ市の店舗駐車場に車を駐車し、15分程買い物をして戻ったところ、助手席側後部座席の窓ガラスが割られ、トランクに置いたパソコン等在中の鞄を盗難された。

7月30日20時頃、邦人男性がレオン市旧市街付近のリスボア通りとマドリッド通りの交差点に路上駐車後、トランクへカバン（パスポート、パソコン、Ipad在中）を入れ、その場を離れた。1時間後、車へ戻ると、助手席側後部座席が割られ、トランクに入っていたカバンが盗まれていた。

→ メキシコでは時間・場所を問わず車上狙いが発生しております。僅かな時間であっても車から離れる際は鍵を掛け、バッグ等の荷物や貴重品は車内に残さずに必ず携行してください。また、僅かな時間であっても車から離れる際は鍵を掛け、パソコンやスマートフォン、パスポートなどの貴重品やバッグは、車内に残さず必ず携行するか、外出時に不必要的ものは、なるべく持ち出さないようにしてください。

●強盗及び窃盗被害

8月21日12時40分頃、邦人男性がシラオ市の飲食店駐車場に車を駐車し買物中、車に目を向けると、男が車のドアを開けて中を物色しているのを確認した。すぐさま駆け寄り声を掛けたが、男は車内に置いてあったパソコン等在中のカバン及びスマートフォンを盗み逃走した。車に施錠はしていなかった。

9月21日4時15分頃、邦人男性がレオン市の在留邦人が多く居住する自宅マンション前の路上で出勤の

ため企業の送迎車を待っていたところ、バイクに乗った2人組に右後頭部を殴打され、所持していた鞄（財布、携帯電話、パソコン在中）を奪われ、軽傷を負った。

9月30日6時頃、邦人男性がイラプアト市の自宅において、前日から施錠をして自宅駐車場に停めておいたはずの車が盗難されていた。

→ やむを得ず、夜間や早朝の外出する際は周囲に注意し、屋外での携帯操作などで警戒を怠らないようにしてください。送迎時は特定されにくい行動を心がけ、強盗被害時には抵抗せず安全を最優先に行動することが重要です。また、車両盗難では、ハンドルロックやGPSなど複数の防犯策を講じ、スマートキーは電波が届きにくい場所に保管してください。明るい場所への駐車や防犯カメラの活用も有効です。貴重品を車内に残さず、保険加入状況も定期的に確認しましょう。

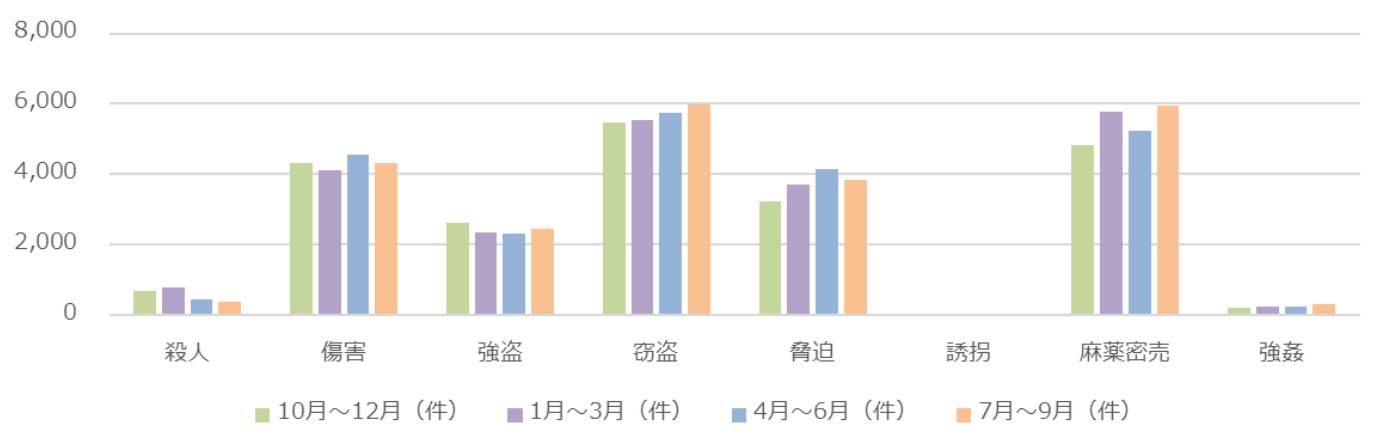
●銃撃被害

9月24日17時頃、邦人男性（企業駐在員）とメキシコ人運転手の計2名が乗車するグレーのミニバン（防弾仕様及びランフラットタイヤを装着）が、高速道路45D号線を走行中、アパセオ・エル・グランデ市付近でUターンのため減速した際、黒色及び白色の車両に乗った武装集団から銃撃を受けた。乗員に怪我等はなかったが、タイヤ及び車両後部に被弾した。

→ メキシコでは昼夜を問わず被害が発生しており、移動時は交通量の多い道を選び、人通りや明かりの少ない場所での停車・減速を避けてください。特にUターンや信号待ちなど、必然的に速度を落とす場面では周囲の状況に注意し、不審車両や人物の有無を確認することが重要です。単独行動を控え、行程や到着予定を家族・社内と共有しましょう。不審車両を察知した際は停車せず離れ、事件時には抵抗せず犯人を刺激しないようにしてください。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
殺人	693	800	438	397
傷害	4,328	4,106	4,574	4,312
強盗	2,610	2,336	2,323	2,452
窃盗	5,470	5,542	5,755	5,972
脅迫	3,226	3,702	4,162	3,840
誘拐	0	1	4	3
麻薬密売	4,821	5,771	5,243	5,947
強姦	227	241	262	307

グアナファト州



(2) アグアスカリエンテス州

・人口約142万人 犯罪認知総数（7月～9月）10,342件

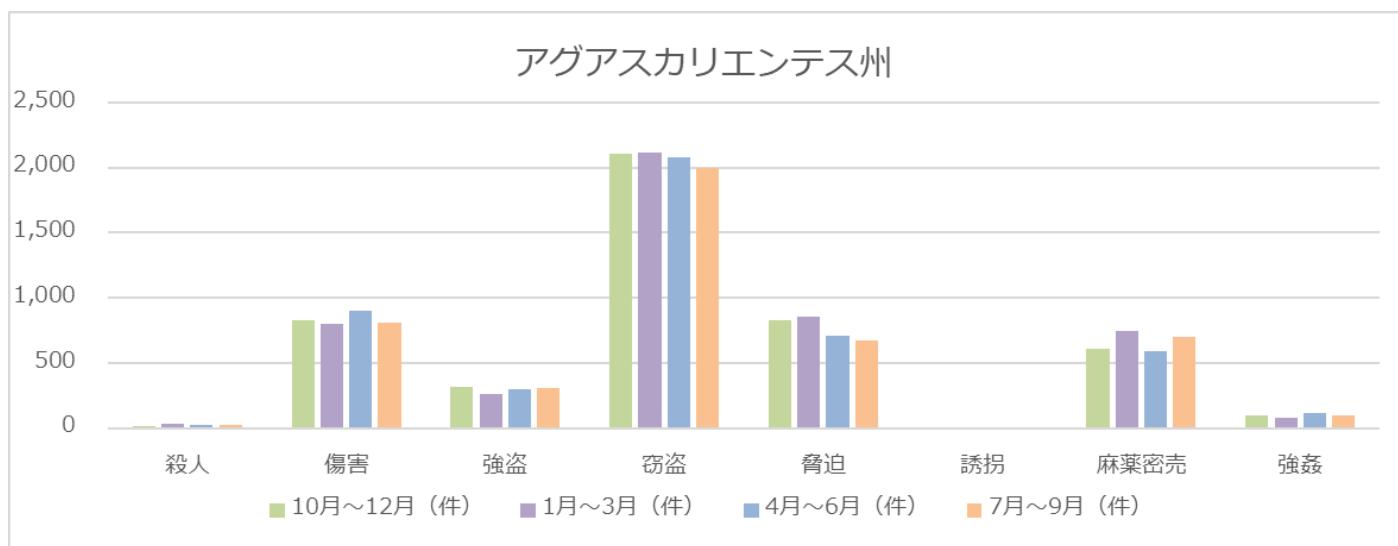
犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率（人口の割合）では窃盗や強盗の割合が高い州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市内で発生しており、窃盗の中でも特に車上荒らしは邦人被害が多いため、駐車する場所は人目の多いところを意識して選定し、貴重品は絶対に車内に残さないよう徹底してください。

・邦人被害（7月～9月）1件（置き引き被害1件）

9月29日20時頃、邦人女性がアグアスカリエンテス市のレストランで食事中、椅子の背もたれにかけていたカバンが盗難された。

→ 飲食中でもカバンは手元や身体に近い位置に置き、床に置く場合は足で押さえるなど身体から離さず、席を離れる際は短時間でも荷物を持ち歩くか、同行者に見てもらうよう工夫をしてください。貴重品は必要なものだけ携行し、外ポケットや開口部に見える形で置かないよう注意してください。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
殺人	14	31	20	26
傷害	827	799	897	811
強盗	318	265	300	310
窃盗	2,109	2,115	2,079	1,994
脅迫	826	857	710	675
誘拐	0	0	0	0
麻薬密売	605	742	591	702
強姦	99	83	112	95



(3) ハリスコ州

・人口約834万人 犯罪認知総数（7月～9月）29,163件

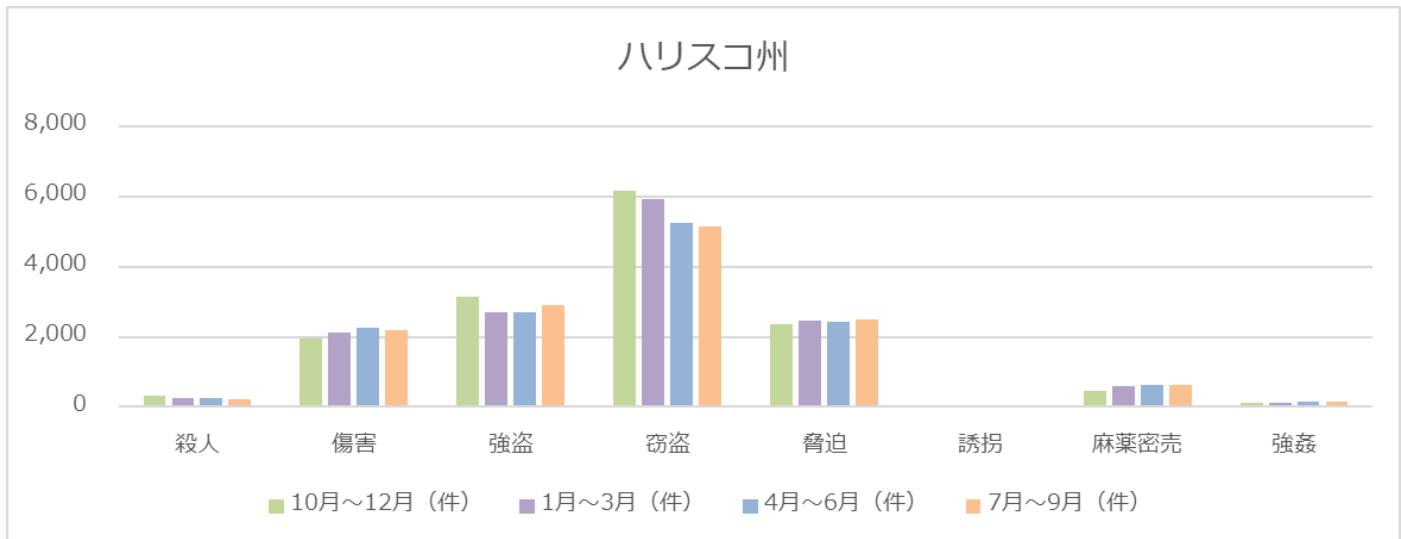
窃盗及び強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く、注意が必要です。高速道路上でも被害が発生しており、とりわけ早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。旅行者、出張者と分かるような格好はターゲットにされるリスクも高くなりますのでご注意ください。

・邦人被害（7月～9月）1件（ひったくり被害1件）

8月17日（日）16時頃、邦人男性がグアダラハラ市でスマートフォンを見ながら歩道を歩いていたところ、後方から走行してきた2人乗りのバイクの男に携帯電話機を奪われた。

→ 歩行中に携帯電話を操作する際は周囲に十分注意を払い、特に後方から接近する人物やバイクに警戒し、貴重品はできるだけ目立たないように持ち歩くなど工夫をしてください。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
殺人	320	271	263	220
傷害	1,942	2,108	2,248	2,184
強盗	3,151	2,688	2,698	2,903
窃盗	6,149	5,934	5,257	5,126
脅迫	2,349	2,460	2,434	2,477
誘拐	3	3	3	3
麻薬密売	457	591	620	611
強姦	133	122	147	146



(4) ケレタロ州

・人口約236万人 犯罪認知総数（7月～9月）14,385件

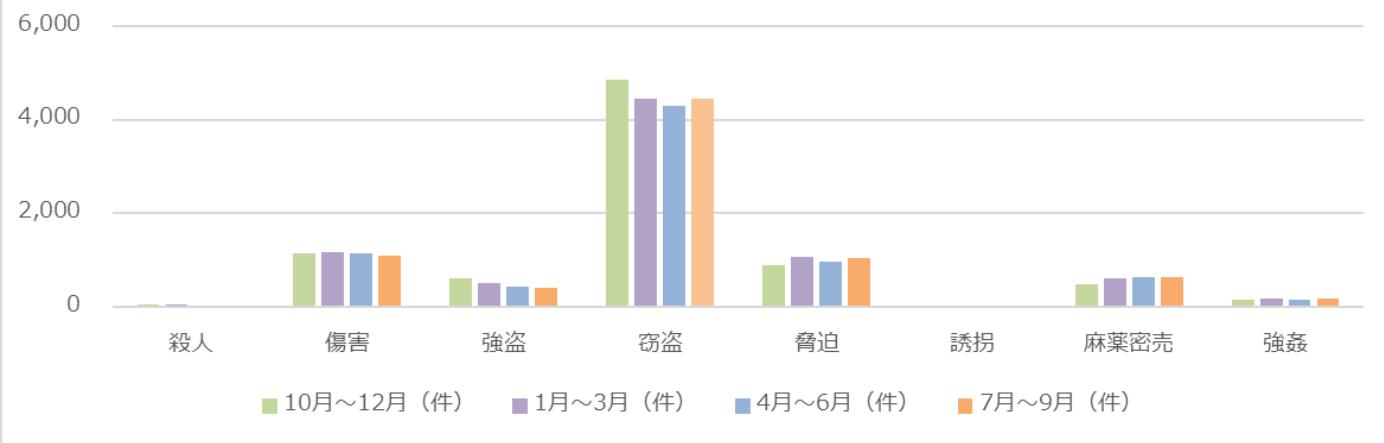
殺人の件数は少ないですが、犯罪の多くがケレタロ市内で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナファト州やメキシコ州の治安が不安定であり、州境での車両強盗被害も目立ちますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路や幹線道路など多車線道路を利用してください。

・邦人被害（7月～9月）0件

7月～9月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
殺人	43	42	39	35
傷害	1,134	1,179	1,147	1,101
強盗	606	508	431	414
窃盗	4,845	4,450	4,302	4,457
脅迫	897	1,061	963	1,037
誘拐	1	0	0	0
麻薬密売	483	610	632	625
強姦	149	170	142	170

ケレタロ州



(5) サンルイスポトシ州

・人口約282万人 犯罪認知総数（7月～9月）15,263件

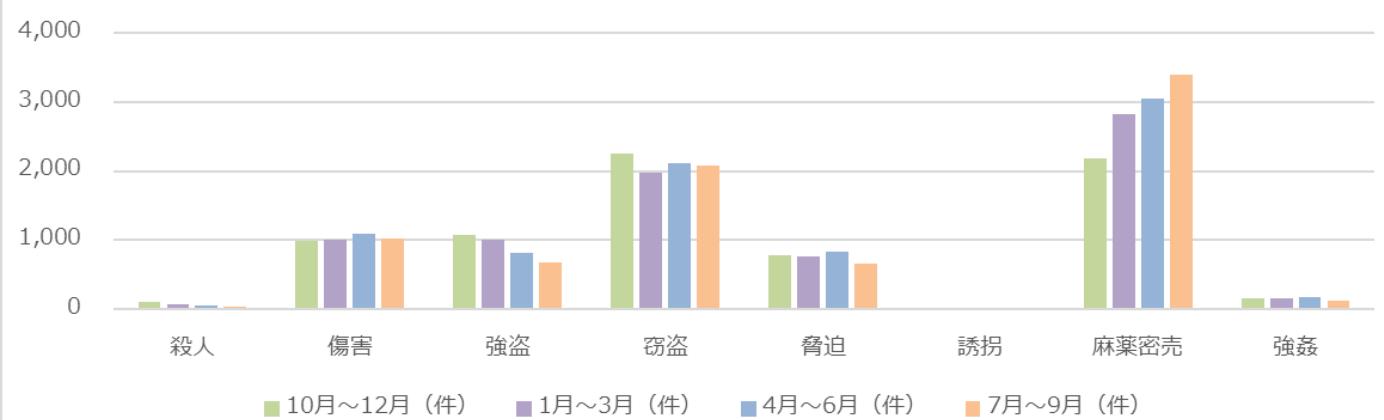
強盗件数は年々増加傾向となっており、その発生率（一定人口当たりの割合）も高くなっています。また、麻薬に関する犯罪も顕著に増加しており治安が悪化する傾向にあります。今のところ、目立ったカルテルの抗争は見られませんが、州東部では移民を狙ったと思われる誘拐事件も発生しておりますので、十分注意をしてください。

・邦人被害（7月～9月）0件

7月～9月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
殺人	109	80	48	38
傷害	998	1,005	1,093	1,034
強盗	1,079	1,005	812	687
窃盗	2,258	1,971	2,109	2,073
脅迫	782	759	829	661
誘拐	0	1	1	1
麻薬密売	2,180	2,820	3,047	3,393
強姦	159	161	171	134

サンルイスポトシ州



(6) サカテカス州

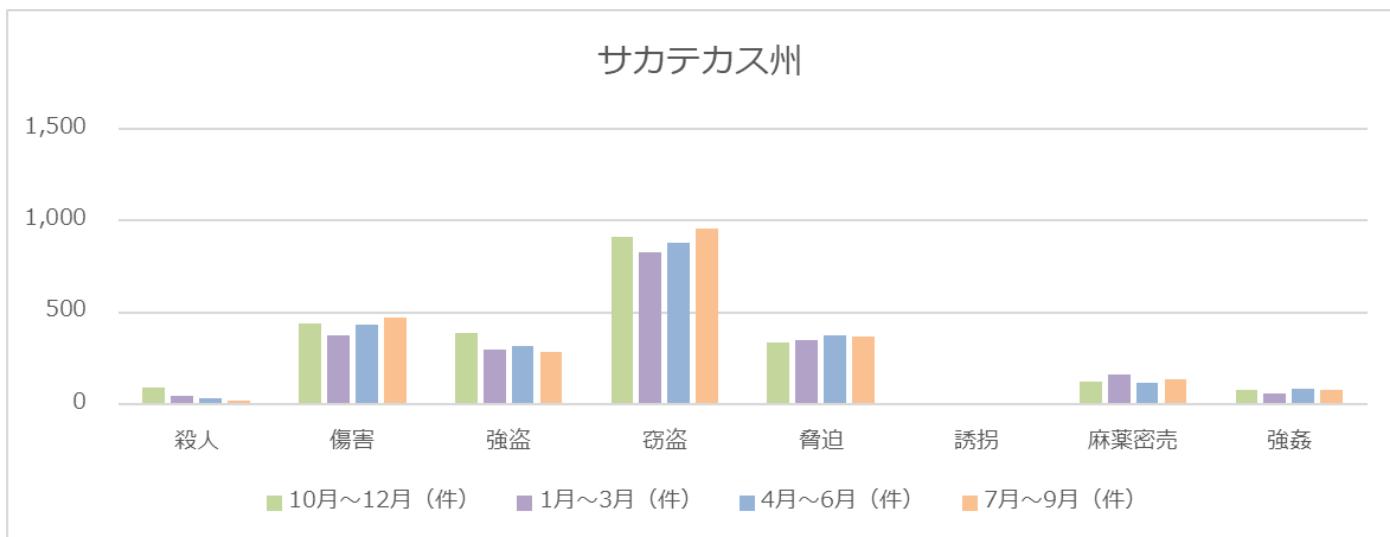
・人口約162万人 犯罪認知総数（7月～9月）5,946件

殺人の発生率（一定人口当たりの割合）は、他の州と比べても非常に高い数値となっています。殺人の多くは麻薬関係者と言われていますが、サカテカス州では複数の麻薬カルテルが抗争を行っているため、十分注意が必要です。

・邦人被害（7月～9月）0件

7月～9月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)
殺人	91	47	35	18
傷害	442	374	436	475
強盗	388	301	316	285
窃盗	912	829	879	955
脅迫	336	351	377	367
誘拐	3	1	1	0
麻薬密売	123	162	115	133
強姦	80	58	82	77



3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) メキシコ国内では、麻薬に関する犯罪組織の抗争が活発化しており、これら組織が関与した銃撃事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやクラブ等の出入りを極力避けるとともに、違法薬物には一切関わらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、銃撃事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の状況に注意してください。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域の通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げる事が重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる殺傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従ってください。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車両関連の犯罪被害が引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が

必要です。

- (4) バヒオ地域内では、車両関連の犯罪被害や連邦高速道路 45D 号線の強盗被害が目立ちます。連邦高速道路 45D 号線を利用する際は、可能な限り日中移動と複数人、複数台で行動し、行動スケジュールを家族、友人、会社に事前に伝えておくことや、緊急連絡先をメモし携帯しておく、グアナファト州警察が提供するアプリ「EmergenciasGT0911」をダウンロードしておく、などの対策を検討ください。万が一強盗被害に遭遇してしまったら、気持ちを落ち着かせましょう。犯人は拳銃等を所持している可能性が非常に高いため、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先してください。犯人から解放されたら、周囲に助けを求める、911番（警察、消防、救急への緊急通報番号）に通報するとともに、検察局に被害届けを提出してください。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず 911 番通報を行うよう心掛けて、検察局（Fiscalía General）に被害届を提出してください。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様に注意喚起することができます。また、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができますので、ご協力をお願い致します。

5 バヒオ地域以外における日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載していますので、ご参照ください。

URL: https://www.mx.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/seguridad_anzen.html

以上